

「貧しい国援助先進国の義務」

僕たちの学校では、英語の授業で国際協力について学びました。発展途上国では、日本のような先進国よりもずっと厳しい生活を送っています。食べ物がなかったり、食べ物を得るために僕たちと同じくらいの年齢の子どもが働いていて、学校に行けないという現実もあります。

僕は、食べ物がなくて生活できないということを考えたことがあります。だから、まずはそのような国があるということを知り、考えなければなりません。そして、その国のために僕ができることをする必要があります。例えば募金です。僕たちのお金が貧しい人たちの手に渡り、少しでも食べ物を買ったり、病気になった時に治療するのに役立てばいいと思います。貧しい国を援助することは、日本のような先進国の義務であると思います。国際協力によってお互いの国が助け合い、全ての国が幸せになればといつも思っています。

僕には教師になるという夢があります。英語の教師になり、英語を通して将来の子どもたちに国際協力について伝えていきたいです。